

一年間にあつたこと

星野 真倫

新潟県中越地震から一年と一ヶ月ついでた
ちました。あのはげしいゆれに、おそろわれた
時は、こゝろ、何がおこつたんだい。と思いまし
た。

地震後、三日ぐらいたつて、ひなんできる
ということもききました。山吉志村をはなれ
るのは、いやだったけどごわくではやくひな

んしたかつたです。その時、山吉志村にす
ぐ帰つてきたいなあ。と思いました。

ひなん所で生活しているとき、いつ山吉志
村に帰えられるかなあ、はやく帰りたいたい。と何
回も思いました。

最初は、この人だれ。と思つたボランティア
アの方々のおかげで、ひなん所でも楽しく
生活できました。ボランティアの人は、帰
つてくると楽しく遊んでくれました。仮設に
きてからもたまに遊びにきてくれました。

たくさんの手紙もいただきました。その手
 紙には、はげましの言葉がたくさん書いてあ
 りました。その言葉で元気になりました。と
 くに、「元気ですか」と心配してくれている
 言葉で元気ができました。
 全国のみなさんぼくたちは、元気です。心
 配しないでください。